

# 高齢者と社会をつなげるためのきっかけ作り

大田原市、宇都宮市  
一般社団法人えんがお 濱野将行さん

27班 コミュニティデザイン学 松井日菜 吉田未南  
建築都市デザイン学科 石川瑞樹 横井元晴  
社会基盤デザイン学科 松本龍弥

## 背景

近年、高齢者の孤立が問題視されている。最近のコロナの影響もあり、外出して人と会う機会が減ってこの傾向は強まっている。

一方、街中にベンチがあると主に高齢者の外出の際の休憩地点になり、外出のハードルも下がる。街歩き自体の促進にもつながる。現に国内外でベンチの設置を促進している町もある。

そこで、私たちの班はパートナーのえんがおと共に大田原市でベンチを製作し、高齢者のつながりを作るために、現地で高齢者の方へアンケートを行う計画を立てた。コロナの影響により現地調査が不可能となったため、前期は調査範囲を宇都宮市に移行した。

## 目的

私達の大きな目的は「高齢者と社会を繋げるきっかけづくり」である。このコロナ禍で、その目標を達成するために街中にベンチを設置する活動を始めた。活動するにあたって自分たちで設置箇所を探し、許可を取り、材料を確保し、作成して設置することが必要だと知り、パートナーさんや自治会の協力を受けながら一つ一つ達成していくことに決めた。

作業をする際や許可を取る際など、少しでもお話を伺い、高齢者の方がどんなことに危険を感じているかを知り、更に目標に近づくことを意識して進めた。

## 方法

前期に考えた調査予定を実施することが困難だと判断し、地域パートナーさんと議論した結果、えんがおで進行中の「ベンチプロジェクト」を元に宇都宮市青年会議所が主催するビジネスモデルコンテストに応募した。結果、優秀賞(2位)を受賞し自分たちで活動資金を得た。獲得した賞金5万円をもとに、大田原市と宇都宮市にベンチを設置した。

### ①ベンチの設置場所

大田原：えんがおの近所の空き地、トコトコ大田原のバス停予定地

宇都宮：「とみくら みんなのリビング」、「フリースペースミズタマリ」

えんがおの近くのあるんこ屋さんの前にベンチを設置した。大田原市にある「トコトコ大田原」に新しくコミュニティバスができるとの情報があり、バス停予定地に購入して組み立てたベンチを寄贈した。

峰キャンパスの近くにある「フリースペースミズタマリ」にもベンチを寄贈した。そして東峰町の自治会長さんに周辺の情報を聞き、住民の集いの場である自治会館「とみくら みんなのリビング」に、コロナ収束後再び使用される際に使ってもらう一人用の椅子三脚を廃材で作り、寄贈した。廃材は阿部総合建築有限会社から頂いた。

### ②ベンチの使用状況調査

えんがおの近所の空き地に設置したベンチには、「気軽に楽しく利用してほしい」「会話の輪を広げてほしい」という考えから、誰でも自由に引けるおみくじボックスを設置した。後日確認し、減った数からベンチのだいたいの利用状況を把握した。

## 分析結果

えんがおに頻繁に通っている地域の高齢者の方に、えんがおに来る途中の道でベンチがあったら休憩ができ、楽になる場所をお伺いした。そのところ、あんこ屋さんの前にベンチを設置することが最適であると分かった。ここに置くことで、えんがおに来る高齢者の方の助けになり、他にも地域の方の休憩場所として利用価値があると考えられる。

街歩きを行った結果、コロナの影響もあるのか、外を歩く人の姿は見られなかった。数名歩く人を見かけたが、高齢の方が多かった。ベンチを置くことで外出をする高齢者の方に利用していただきたい。

### おみくじの結果

後日確認すると26枚引かれていた。(設置日：12月20日、確認日：1月10日)  
先ほど述べたように、コロナの影響で外を歩く人が少ない中で26人もベンチを利用する人がいたことはとても多かったと言える。今後、ベンチがあることを知った人が、このベンチを休憩場所の拠点として外出するようになることを期待する。

## 提案

先ほど述べたように、コロナの影響で外を歩く人が少ない中で26人もベンチを利用する人がいたことはとても多かったと言える。えんがおのベンチの特徴として、誰でも座っていいことを可視化するステッカーがある。これを貼ったこともベンチ利用者が多かった理由の一つであると考えられる。今後、ベンチがあることを知った人が、このベンチを休憩場所の拠点として外出するようになることを期待する。

ベンチプロジェクトを広げるためには、ビジネスとしての要素を組み込むことが必要である。具体的には、企業にスポンサーとなっていただく。ベンチに貼るステッカーに企業のロゴを入れることで、企業の宣伝やCSR活動のアピールにもなる。

私たちの活動はこの一年で終わってしまったが、えんがおで現在も進行中である「ベンチプロジェクト」はこれからの超高齢化社会において、高齢者にとって明るい希望となるのではないかと。最終的には、全国に「ベンチプロジェクト」が広がることの手助けを宇都宮大学で担っていくことを望んでいる。

私たちが設置したベンチが多くの人目に留まり、えんがおと宇都宮大学生が、高齢者に寄り添って地域を作っていくと前向きな姿勢であることを知ってもらいたい。



図1 大田原設置のベンチ



図2 とみくら設置の椅子



図3 えんがお近くに設置したベンチとおみくじ



図4 ベンチプロジェクトの概要